

町田消防署からのお知らせ



1 令和3年中の災害状況(町田消防署管内)

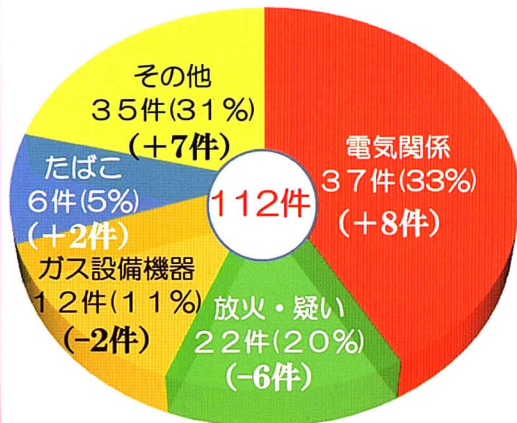
火災状況	火災件数	傷者	死者	焼損床面積	住宅火災件数
令和3年	112件	17名	2名	802㎡	50件
令和2年	103件	21名	1名	460㎡	45件

令和3年中の火災件数は112件で、うち50件が住宅火災によるものでした。前年比9件増加、住宅火災は5件増加しました。また、火災による死者が2名発生しました。焼損床面積は802㎡で、昨年比342㎡の増加となりました。

救急状況	出場件数	救護人員
令和3年	18,665件	15,993名
令和2年	17,651件	15,566名

令和3年中の救急出場件数は18,665件(町田署7隊総計)でした。令和2年より1,014件増加し、救護人員も427名増加しており、毎年増加傾向にあります。

令和3年中に発生した火災の主な出火原因は下図のとおり、電気関係、次いで放火・疑い、ガス設備機器、たばこの順となりました。



令和3年中の町田消防署管内における火災の出火原因
※()は前年比

◆トピックス◆

○電気器具等による火災が増加しております。電気ストーブの周りには可燃物を置かないよう注意してください。
○コンセントからの火災も増加しております。埃などが付着していないか確認してください。また、タコ足配線は電気の許容量を確認してから使用してください。
○充電式リチウムイオンバッテリーからの火災も発生しております。取扱説明書に従った正しい使用に留意してください。
○冬場における収れん火災に気を付けましょう。窓際や太陽光が差込む範囲には、凹面鏡、ルーペやペットボトルなど収れん火災が起こる可能性がある物を置かないよう注意してください。

※火災の早期発見には住宅用火災警報器が非常に有効です。

2 第18回地域の防火防災功労賞受賞

令和4年1月17日(月)にスクワール麹町で第18回地域の防火防災功労賞の表彰式が実施され、玉川学園町内会が最優秀賞を受賞しました。この賞は、阪神・淡路大震災から10年目の節目となる平成16年に地域防災力の向上を図ることを目的として創設され、地震等の自然災害による被害の軽減や火災等の未然防止に関する地域の取り組みを募集、効果的な事例を表彰するとともに、優良な事例を他の地域に広め、都民の防災行動力の向上、地域の連携強化及び地域に対する効果的な事例の普及、拡大を目指すものです。(応募総数75事例、最優秀賞3事例、優秀賞4事例、優良賞10事例)



3 東京消防庁公式アプリについて

東京消防庁公式アプリ



消防や救急の知りたい情報をいつでも・どこでも・手軽に入手できる安全安心情報ツールです。チャットボットやマップ機能を中心に、多くの機能を備え、ユーザー個々の興味関心に合わせて利用できるアプリです。

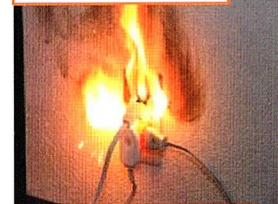
アプリ内のビデオライブラリー、カテゴリー実験・検証の中には、右写真のような、電気ストーブの火災・電源コンセントのトラッキング現象・リチウムイオン電池からの火災等のユーチューブ動画が閲覧でき、家族内の防災教養、自主防災組織による防災訓練に活用できる資料も多数収録されています。是非ともご覧になって下さい。

問合せ先 東京消防庁 企画調整部広報課 都民の声係
TEL:03-3212-2111

電気ストーブ



コンセント



リチウム電池

